

鉄道の運賃改定の申請について

西日本鉄道株式会社は、2026 年 4 月(予定)の運賃改定実施に向けて、本日国土交通大臣宛に鉄道旅客運賃の上限変更認可申請を行いました。

当社の鉄道路線である天神大牟田線・貝塚線は、2025 年に開業 101 年目を迎え、「安全」と「安心」を基本としつつ、通勤・通学など、お客さまの暮らしを支える公共交通サービスを提供してまいりました。

当社の鉄道事業を取り巻く環境は厳しさを増しており、少子高齢化の進展やマイカーへの移行に伴い、鉄道をご利用のお客さまは 1992 年度をピークに減少傾向にあり、2024 年度の輸送人員はピーク時の約 7 割、前回運賃改定を実施した 1997 年度の約 8 割まで減少しております(対 1992 年度[輸送人員ピーク]▲26.5%、対 1997 年度[前回運賃改定時] ▲19.9%)。また、新型コロナウイルスの影響により、鉄道事業は大きな影響を受け、現在は回復傾向にあるものの、ポストコロナの新たな生活様式の定着により、2024 年度もコロナ前の輸送人員まで戻っておりません。

このような環境下において、安全の確保のために必要な設備投資は継続しつつ、施設・車両・駅務部門における外注化や運転部門におけるワンマン化、駅の集中管理化などの人件費・経費の削減をはじめとした効率化を重ねながら、消費税率の変更による運賃改定を除き、前回運賃改定を実施した 1997 年度以降、現在に至るまで現行の運賃水準を維持してまいりました。

しかしながら、今後は ATS システム(自動列車停止装置)や変電所などの列車運行の基礎となる大型基盤施設の更新が必要となるほか、耐震補強をはじめとした激甚化する自然災害対策など、安全確保のための設備投資が増加する見通しです。また、新造車両への代替、朝ラッシュ時の輸送力増強、駅施設の改修・改良やバリアフリー整備の継続的な実施など、サービス向上に資する投資のほか、職場環境改善など人財確保のために必要な投資も継続的に実施する必要があります。さらに、電気料金の値上げや物価高騰、人財確保のための待遇改善、非化石証書付電力の導入などのカーボンニュートラルの実現に向けた対応など、人件費・経費はこれまで以上に増加すると見込まれます。

つきましては、将来にわたって鉄道事業を安定的かつ継続的に運営し、公共交通機関としての使命を果たしていくために、当社のより一層の経営努力を前提としたうえで、今後増加する費用の一部につきましてお客さまにご負担をお願いしたく、このたび鉄道旅客運賃の上限変更認可申請を行いました。

引き続き、「安全」と「安心」を基本に、お客さまの暮らしに密着した公共交通サービスを提供すべく事業運営に取り組んでまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

主な申請内容は、以下のとおりです。

<主な申請の内容>

1. 申請日

2025 年 9 月 17 日(水)

2. 初乗り運賃

	現 行	改 定
定期外	170 円	180 円

※現行運賃には鉄道駅バリアフリー料金を含む

3. 改定率・増収率

		上 限 運 賃	
		改 定 率	増 収 率
定 期 外		11.1% (14.6%)	9.0% (12.5%)
定 期	通 勤	15.6% (19.2%)	14.5% (18.1%)
	通 学	9.0% (—)	8.1% (—)
	計	14.6% (17.6%)	13.6% (16.5%)
合 計		12.4% (15.7%)	10.7% (14.0%)

※括弧内は現行運賃に鉄道駅バリアフリー料金を含まない場合

4. 定期旅客運賃の平均割引率

	現 行	改 定
通勤定期	39.3%	37.2%
通学定期	81.2%	82.2%

※現行は鉄道駅バリアフリー料金を含まない

5. 運賃改定の実施時期

2026 年 4 月(予定)

6. その他

2023 年 3 月 27 日より実施しておりました、運賃への「鉄道駅バリアフリー料金」の加算は、今回の運賃改定にあわせて廃止いたします。バリアフリー設備の整備および維持更新につきましては、今後も継続して実施してまいります。

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター (TEL 050-3616-2150) まで

鉄道の運賃改定の申請について

目 次

1. 鉄道事業の概要
2. これまでの取り組み
3. 経営合理化の状況と今後の取り組み
4. 運賃・料金の多様化の内容
5. 運賃改定の理由
6. 主な申請の内容
7. 鉄道事業収支の実績および推定
8. 運賃収入内訳
9. 需要見通し(輸送人員の実績と将来推計)
10. 設備投資の実績と今後の計画
11. 利用者サービスの向上策

1. 鉄道事業の概要

当社は、2025 年に天神大牟田線・貝塚線の開業 101 年目を迎え、「安全」と「安心」を基本としつつ、公共交通サービスを提供してまいりました。

当社の鉄道事業は、天神大牟田線と貝塚線からなる、旅客営業キロ 106.1km、駅数 73 駅の路線網を有しており、福岡県の福岡・筑後地域において、通勤・通学をはじめとしてお客さまの生活に必要な不可欠な公共交通機関となっております。

天神大牟田線は、西鉄福岡(天神)を起点に、二日市・久留米・柳川などの沿線諸都市を経由し、大牟田までの 74.8km を約 64 分(特急)で結ぶ路線で、本線のほかに、西鉄二日市から太宰府までを結ぶ太宰府線と、宮の陣から甘木までを結ぶ甘木線から構成されております。2024 年度は 1 日あたり 25 万 9 千人のお客さまにご利用いただいております。福岡・久留米・大牟田の都市間輸送を担い、通勤や通学でのご利用のほか、太宰府や柳川といった沿線の有名観光地を結ぶ観光アクセス路線としても重要な役割を果たしてまいりました。

貝塚線は、福岡市東区の貝塚から糟屋郡新宮町を結ぶ路線で、福岡市地下鉄の箱崎線と接続しております。2024 年度は 1 日あたり 2 万 3 千人のお客さまにご利用いただいております。福岡市東部から天神地区へのアクセスにおいて、重要な役割を果たしてまいりました。

2. これまでの取り組み

当社グループは、「“あんしん”と“かいてき”と“ときめき”を提供しつづけ、地域とともに歩み、ともに発展する」ことを企業理念としております。鉄道事業においても、地域の足としてお客さまに安全と安心を提供するとともに、継続して利便性向上に取り組んでまいりました。また、駅を拠点とした沿線のまちづくりを推進することにより、地域の発展と成長に貢献してまいりました。これまでの主な取り組み内容は、下記のとおりです。

(1)安全・安定輸送の確保

①連続立体交差事業

前回運賃改定を実施した 1997 年度以降、2004 年に高架への切り替えを行った花畑駅周辺連続立体交差事業の他、貝塚線の貝塚～香椎間、天神大牟田線の雑餉隈～下大利間において、国や地方自治体と連携し、踏切における慢性的な交通渋滞の解消や、鉄道・道路それぞれの安全性向上、駅の東西の分断解消による地域の一体化の実現に向けて、連続立体交差事業を進めてまいりました。直近の雑餉隈～下大利間においては、2022 年 8 月に線路の高架への切り替えが完了し、同時に 19 か所の踏切が除去されました。

②ホームの安全対策

バリアフリー法(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)による「移動等円滑化基本方針」に基づき、1日の平均乗降人員が10万人以上の駅である西鉄福岡(天神)駅において、ホームドアの整備を進めてまいりました。2023年度に設置工事を開始し、2025年度末までにすべてのホームに設置が完了する予定です。

ホームドア以外にも、視覚障がいをお持ちのお客さまがホームの内側を判別できるよう、ホーム上に内方線付点状ブロックの整備を進めております。2024年度は、西鉄福岡(天神)駅の一部ホームにおいて整備を実施しております。あわせて、点状ブロックがJIS規格に適合していない駅についても、順次JIS規格に適合した点状ブロックへ交換を進めております。

また、曲線状のホームにおいて、列車とホームのすき間に転落したお客さまを検知するシステムを、西鉄二日市駅(1、2番のりば)、宮の陣駅(1番のりば)、北野駅(1、2番のりば)に設置しております。

③自然災害対策

地震や大雨など、近年激甚化する自然災害への対策を進めております。

地震災害への対策について、西鉄福岡(天神)～筑紫間は警固断層帯と線路が並行しており、震度6強以上の地震が発生する可能性があります。地震に伴い、高架橋や法面※などの構造物が崩壊するおそれがあるため、西鉄福岡(天神)～井尻間にて耐震補強工事を継続して実施しております。なお、本区間が完了後、その他の区間についても順次工事を進める予定です。

大雨災害への対策について、一定の雨量を超過した場合、法面が崩壊するリスクがある箇所については、輸送量等を勘案して優先順位を設けながら、法面の強化を行っております。

また、事故や災害が発生した際に乗務員や技術員が迅速かつ的確に対応できるよう、警察や消防等関係機関によるご協力をいただきながら、さまざまな状況を想定した訓練を実施しており、異常時の対応について知識の習得および技能の向上に取り組んでおります。

※法面…切土や盛土により作られた人工的な斜面のこと

(2)サービスの改善

①新造車両の導入

新造車両 9000 形の導入を順次進めており、2016 年度より運行を開始しました。老朽化した 5000 形車両の代替となる車両で、各車両に床・吊革の色を変更して識別化した優先スペース(車いす、ベビーカースペース)や扉開閉動作ランプを設置するなど、バリアフリー設備の拡充を行っています。また、5000 形車両と比較して消費電力量は約 50%と、省エネルギー化にも寄与しています。2024 年度末現在、43 両を保有しています。

②バリアフリー化の推進

お客さまに安全・安心かつ快適にご利用いただくため、「移動等円滑化基本方針」に基づき、バリアフリー設備の整備を進めております。1日あたりの乗降人員3千人以上の駅(2025年3月「鉄道駅バリアフリー料金制度の整備等計画の変更届出」時点)については、2025年度末までに32駅中31駅でエレベーターもしくはスロープを整備し、段差の解消を図ります。なお、未整備の新栄町駅については、駅周辺の再開発とあわせて駅舎改修を計画しており、段差の解消を図る予定です。

また、バリアフリーに対応したトイレも、2025年度末までに32駅中30駅で整備します。未整備の井尻駅および新栄町駅は、駅舎改修とあわせて整備を行う計画としております。

③駅を拠点としたまちづくりの推進

2024年3月に、雑餉隈～春日原間に新駅「桜並木駅」を開業しました。2010年3月に西鉄二日市～朝倉街道間に開業した「紫駅」以来、約14年ぶりの新駅で、沿線の利便性向上や周辺地域の活性化に寄与しました。

④決済手段の多様化(クレジットカード等によるタッチ決済の導入)

決済手段の多様化に対応し、お客さまの利便性向上のため、磁気券およびICカードに加え、クレジットカード等によるタッチ決済を導入しております。2022年7月より、ターミナル駅や観光地の駅など一部の駅において実証実験を開始、2024年11月には利用可能駅を全駅へ拡大しました。ご利用件数の着実な増加に伴い、2025年4月より本格導入しております。VISAやJCBをはじめ計7つのカードブランドがご利用可能です。

3. 経営合理化の状況と今後の取り組み

1992 年度の輸送人員のピーク以降、お客さまが減少傾向となる中においても、積極的なコスト削減に取り組むことにより、消費税率の変更による運賃改定を除き、1997 年に実施した運賃改定で認可された上限運賃の範囲内で運賃水準を維持してまいりました。

コスト削減策として、運転部門において、輸送人員の減少が著しい久留米以南の適正な輸送力の提供と効率化を図るため、2001 年のダイヤ改正で花畑～大牟田間の普通列車のワンマン化を実施しました。また、駅務部門におきましては、2004 年 10 月に天神大牟田線全駅の駅業務を 100%子会社の「株式会社西鉄ステーションサービス」に全面委託いたしました。さらに、2020 年 10 月より駅集中管理方式での駅運営を開始し、2025 年 4 月時点で全 73 駅中 42 駅と約 6 割が集中管理駅となっております。

さらに、2007 年 4 月には不採算路線であった宮地岳線(当時)の一部区間である新宮～津屋崎間を廃止しております。

これらの取り組みを推進した結果、2024 年度の鉄道事業の営業費は、運賃収入のピークである 1998 年度の営業費と比較しておよそ 21 億円(約 9%)減少しております。

今後も、お客さまのニーズに合ったサービスの見直しに取り組むとともに、デジタル技術を活用した生産性向上、経営合理化に取り組むことで、持続可能な鉄道事業の運営を実現し、お客さまに安全・安心な輸送サービスの提供を推進してまいります。

4. 運賃・料金の多様化の内容

(1) 主な企画乗車券

当社では、観光客をはじめ多くのお客さまに西鉄電車沿線の魅力的なスポット・イベントへお出かけいただくとともに、増収に向けた取り組みとして、さまざまな企画乗車券を販売しております。

① 太宰府・柳川観光きっぷ

西鉄福岡(天神)駅または薬院駅から、太宰府駅および西鉄柳川駅までの往復乗車券に加え、柳川観光開発(株)が運航する川下りの乗船券がセットになったチケットです。また、太宰府・柳川エリアの社寺や施設で割引などの優待をご利用いただけるクーポンもセットとなっております。

② 太宰府散策きっぷ

西鉄福岡(天神)駅から太宰府駅までの往復乗車券に加え、太宰府名物の梅ヶ枝餅の引換券がセットになったチケットです。また、太宰府エリアの社寺や施設で割引などの優待をご利用いただけるクーポンもセットとなっております。

③ 福岡(天神)⇄太宰府 1 日フリー乗車券

西鉄福岡(天神)駅から西鉄二日市駅間および太宰府線の区間内が乗り降り自由となるフリー乗車券です。MaaS アプリケーション「my route」、三井住友カードのアプリケーション「Pass Case」にてお買い求めいただけるデジタルチケットとなっております。

④ FUKUOKA 1DAY PASS

西鉄福岡(天神)駅から西鉄柳川駅間・太宰府線・甘木線と、福岡・久留米・佐賀・筑豊地区を運行する西鉄一般路線バスの 1 日フリー乗車券です。沿線の一部施設では、本チケットの提示による割引などの優待をご利用いただけます。

⑤ くの細道きっぷ[期間限定]

例年 4 月ごろの特定日に期間限定で販売している企画乗車券で、甘木線沿線の久留米市北野町および大刀洗町に点在する酒蔵めぐりをお楽しみいただけます。出発駅からの往復乗車券に加え、沿線の各酒蔵で利用可能な「飲み比べおちょこ購入補助券」がセットとなっております。

その他の企画乗車券として、「くるめグルメきっぷ」「キリンガーデンクーポン」「鳥栖プレミアム・アウトレットきっぷ」「グリーンランドフリーパス付ききっぷ」などを発売しております。

(2) 多様な決済方法の導入

近年のキャッシュレス決済の普及に伴い、お客さまのニーズが多様化していることから、決済方法の拡充に取り組んでおります。2024 年 11 月より、天神大牟田線(太宰府線・甘木線を含む)および貝塚線の全駅で、クレジットカード等によるタッチ決済でのご利用が可能となっております。

他社で導入の動きが加速している QR 乗車券についても、研究を進めております。

(3) 運賃のポイントバック施策の実施

2022 年 10 月より、高齢者のアクティブライフを応援するため、「グランド電車割 20」を実施しております。65 歳以上で、交通系 IC カード「スターnimoca」「クレジット nimoca」、自社路線バス全線乗り放題となる定期券「グランドパス 65」「グランドパス 75」のいずれかをお持ちのお客さまに対し、10 時から 17 時の日中帯に自社鉄道線をご利用いただいた場合、運賃の 20%相当分をポイント還元いたします。

5. 運賃改定の理由

当社の鉄道事業は、少子高齢化の進展やマイカーへの移行に伴い、鉄道をご利用のお客さまは 1992 年度をピークに減少傾向にあり、2024 年度の輸送人員はピーク時の約 7 割、前回運賃改定を実施した 1997 年度の約 8 割まで減少しております(対 1992 年度[輸送人員ピーク]▲26.5%、対 1997 年度[前回運賃改定時] ▲19.9%)。また、新型コロナウイルスの影響により、鉄道事業は大きな影響を受け、現在は回復傾向にあるものの、ポストコロナの新たな生活様式の定着により、2024 年度もコロナ前の輸送人員まで戻っておりません。

このような環境下において、安全の確保のために必要な設備投資は継続しつつ、施設・車両・駅務部門における外注化や運転部門におけるワンマン化、駅の集中管理化などの人件費・経費の削減をはじめ、あらゆる経営合理化やコスト削減に取り組んできたことで、消費税率の変更による運賃改定を除き、前回運賃改定を実施した 1997 年度以降、現在に至るまで現行の運賃水準を維持してまいりました。

輸送人員の今後の見通しとして、天神ビッグバンによる天神地区の雇用者数の増加などにより、通勤定期は、2026 年度以降も増加が見込まれます。また、定期外は、15 歳以上の人口が今後微増傾向で推移するとともに、引き続きインバウンドの増加は見込まれますが、コロナによる新たな生活様式の定着により、日常利用のお客さまはコロナ前まで回復しておらず、定期外と定期の合計でコロナ前の水準までは戻らない見通しです。

一方で、今後、ATS システム(自動列車停止装置)や変電所などの列車運行の基礎となる大型基盤施設の更新が必要となるほか、耐震補強をはじめとした激甚化する自然災害対策など、安全確保のための設備投資が増加する見通しです。また、新造車両への代替、朝ラッシュ時の輸送力増強、駅施設の改修・改良やバリアフリー整備の継続的な実施など、サービス向上に資する投資のほか、職場環境改善など、人財確保のために必要な投資も継続して実施する必要がございます。さらに、電気料金の値上げや物価高騰、人財確保のための待遇改善、非化石証書付電力の導入などのカーボンニュートラルの実現にむけた対応など、人件費・経費はこれまで以上に増加すると見込まれます。

このような環境下にあっても、将来にわたって鉄道事業を安定的かつ継続的に運営し、公共交通機関としての使命を果たしていくために、当社のより一層の経営努力を前提としたうえで、今後増加する費用の一部についてお客さまにご負担をお願いしたく、このたび 1997 年の運賃改定以来、約 30 年ぶり(消費税率変更によるものを除く)となる運賃改定に向けた申請を実施するものでございます。

なお、運賃への「鉄道駅バリアフリー料金」の加算は、今回の運賃改定にあわせて廃止いたします。バリアフリー設備の整備及び維持更新につきましては、今後も継続して実施してまいります。

6. 主な申請の内容

(1) 申請日

2025 年 9 月 17 日(水)

(2) 初乗り運賃

	現 行	改 定
定期外	170 円	180 円

※現行運賃には鉄道駅バリアフリー料金を含む

(3) 改定率・増収率

		上 限 運 賃	
		改 定 率	増 収 率
定 期 外		11.1% (14.6%)	9.0% (12.5%)
定 期	通 勤	15.6% (19.2%)	14.5% (18.1%)
	通 学	9.0% (—)	8.1% (—)
	計	14.6% (17.6%)	13.6% (16.5%)
合 計		12.4% (15.7%)	10.7% (14.0%)

※括弧内は現行運賃に鉄道駅バリアフリー料金を含まない場合

(4) 定期旅客運賃の平均割引率

	現 行	改 定
通勤定期	39.3%	37.2%
通学定期	81.2%	82.2%

※現行には鉄道駅バリアフリー料金を含まない

(5) 運賃改定の実施時期

2026 年 4 月(予定)

7. 鉄道事業収支の実績および推定

(単位:百万円)

項 目	2024 年度 (実績)	2026～2028 年度 (3 か年平均)	
		現行	申請
収 入	23,693	24,198	27,112
支 出	23,649	27,447	27,447
差引損益	44	△3,248	△335
収 支 率	100.2%	88.2%	98.8%

※2024 年度の実績値は鉄道駅バリアフリー料金を含む金額

※2026～2028 年度(3 か年平均)は鉄道駅バリアフリー料金を含まない金額

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合がある

※支出は、申請上の計算方法にて算出

8. 運賃収入内訳

(単位:百万円)

項 目	2024 年度 (実績)	2026～2028 年度 (3 か年平均)	
		現行	申請
定 期 外	12,851	13,001	14,623
定 期	7,928	7,821	9,112
合 計	20,779	20,822	23,736

※2024 年度の実績値は鉄道駅バリアフリー料金を含む金額

※2026～2028 年度(3 か年平均)は鉄道駅バリアフリー料金を含まない金額

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合がある

9. 需要見通し(輸送人員の実績と将来推計)

【実 績】

(単位:千人、%)

項 目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
定期外	47,841	31,187	33,040	38,926	43,053	45,040
定 期	58,307	47,861	51,104	53,578	55,989	57,979
合 計	106,148	79,048	84,144	92,504	99,042	103,019
前年比	—	△25.5	+ 6.4	+ 9.9	+ 7.1	+ 4.0

【計 画】

(単位:千人、%)

項 目	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
定期外	46,544	45,901	46,232	46,297
定 期	58,382	58,217	58,365	58,304
合 計	104,926	104,118	104,597	104,601
前年比	+ 1.9	△0.8	+ 0.5	+ 0.0

10. 設備投資の実績と今後の計画

(1) 設備投資実績・計画

(単位:億円)

項 目	2024 年度 実績	2025 年度 計画	2026 年度 計画	2027 年度 計画	2028 年度 計画
安 全	43	49	71	94	76
サービス改善	18	17	10	8	7
輸送力増強	4	8	7	9	10
合 計	66	73	88	111	93

(2) 主要プロジェクトの内容

今後の設備投資を実施するにあたっては、「安全・安定輸送の確保」「お客さまサービスの向上」「人財の確保」の3つの視点で積極的に取り組んでまいります。

<安全・安定輸送の確保>

- ①施設、設備の更新
- ②施設の耐震補強・法面強化
- ③保安度向上に向けた対策 など

<お客さまサービスの向上>

- ①車両の代替
- ②駅施設の改修・改良
- ③バリアフリー整備の推進 など

<人財の確保>

- ①休憩所、浴室、トイレなどのリニューアル
- ②乗務所・工場等の施設改修 など

11. 利用者サービスの向上策

<安全・安定輸送の確保>

- ①施設、設備の更新
- ②施設の耐震補強・法面強化
- ③保安度向上に向けた対策 など

【主な内容】

- ・ ATS システムの更新

ATS システム(自動列車停止装置)は、列車が赤信号(停止信号)の手前で確実に停止できるようにブレーキ制御を行う装置で、省令により設置が義務化されております。現在、天神大牟田線で使用しているATSシステムは、1972年の導入から50年以上が経過しており、調達困難な部品が多く、機器の生産中止が発生している状況となっていることから、2026年度より順次更新を進めてまいります。

- ・ 変電所建替

変電所は、列車や駅舎、信号機、踏切等に送電する重要な設備で、天神大牟田線に13か所、貝塚線に1か所ございます。最も古い春日原変電所は築100年を超えるなど、施設の老朽化が顕著に進んでおり、早期の建替えが必要な状況となっております。

今後、2028年度までに春日原変電所の建替えを実施するほか、その他の老朽化が進んだ変電所につきましても順次更新を進めることで、電力供給の安定性確保による安全輸送の実現に取り組めます。

なお、今後の変電所建替にあたっては、激甚化する自然災害への対策として耐震構造や機器類の水害対策を行うほか、省スペース型・省力型機器の導入を検討いたします。

- ・ 耐震補強

西鉄福岡(天神)～筑紫間は警固断層帯と線路が並行しており、震度6強以上の地震が発生する可能性がございます。地震に伴い、高架橋や法面などの構造物が崩壊するおそれがあるため、西鉄福岡(天神)～井尻間にて耐震補強工事を進めており、今後も継続して安全性向上に取り組めます。

なお、本区間が完了後、その他の区間についても順次工事を進める予定です。

- ・ 法面強化

近年、大雨災害が激甚化しており、過去に経験のない雨量や降雨強度を記録することが増えております。当社の鉄道路線は築堤上を走行する区間があり、一定の雨量を超過した場合、一部

の法面で崩壊するリスクがございます。このような箇所について、輸送量等を勘案しつつ優先順位をつけながら、法面の強化を行ってまいります。

＜お客さまサービスの向上＞

- ①車両の代替
- ②駅施設の改修・改良
- ③バリアフリー整備の推進 など

【主な内容】

・ 天神大牟田線 9000 形車両の導入

2016 年度より、老朽化した 5000 形の代替車両として、新造の 9000 形車両の導入を順次進めております。各車両に床・吊革の色を変更して識別化した優先スペース(車いす、ベビーカースペース)や扉開閉動作ランプを設置するなど、バリアフリー設備を拡充しており、すべてのお客さまに優しい車両となっております。また、主要な電気機器(車両制御装置、補助電源装置)に次世代半導体素子「SiC」を適用したインバータを採用することで、既存の 5000 形車両と比較して約 50%の省エネルギー化を図っております。2024 年度末現在、43 両を保有しており、今後も計画的に導入を進めてまいります。

・ 貝塚線 600 形車両の代替および輸送力の増強

貝塚線の 600 形車両は、導入から 60 年以上経過した編成があり、老朽化が進んでおります。そのため、2025～2027 年度にかけて、現在天神大牟田線で運用している 7050 形車両への置き換えを実施いたします。

また、この置き換えにより、貝塚線の車両数を現在の 8 編成 16 両から 9 編成 18 両に増加させることで、2026 年春のダイヤ改正にて、朝ラッシュ時間帯の輸送力増強を計画しております。混雑が激しい朝ラッシュ時に増便を図り、混雑率の緩和に取り組めます。

・ 駅施設の改修・改良

優先順位をつけながら、老朽化した駅舎の改修、補修、外壁・屋根・壁面・床面などの美化に取り組む、快適な駅環境の実現を目指します。

現在、計画している高宮駅と井尻駅は駅舎新築時から大規模改修を実施しておりません。高宮駅は、現在実施中の耐震補強工事および併設の商業部分のリニューアル計画に合わせて、コンコース・トイレ等の改修・改良を実施いたします。井尻駅についても駅舎・トイレの改修・改良などを実施いたします。

- ・ バリアフリー整備の推進

お客さまに安全・安心かつ快適にご利用いただくため、「移動等円滑化基本方針」に基づき、バリアフリー設備の整備を進めております。

1 日あたりの乗降人員 10 万人以上の西鉄福岡(天神)駅では、2025 年度末までにすべてのホームにホームドアの整備を完了いたします。

1 日あたりの乗降人員 3 千人以上(2025 年 3 月「鉄道駅バリアフリー料金制度の整備等計画の変更届出」時点)の駅につきましては、2025 年度末までに 32 駅中 31 駅でエレベーターもしくはスロープを整備し、段差の解消を図ります。なお、未整備の新栄町駅については、駅周辺の再開発とあわせて駅舎の改修を予定しており、段差の解消を図る計画です。

また、バリアフリーに対応したトイレも、2025 年度末までに 32 駅中 30 駅で整備します。未整備の井尻駅および新栄町駅は、駅舎改修と同時に整備を行う計画としております。

2023 年 3 月より収受しておりました「鉄道駅バリアフリー料金」は、運賃改定にあわせて廃止いたしますが、今後もバリアフリー整備は継続して実施してまいります。

- ・ 駅務機器の代替

自動改札機、自動券売機などの駅務機器につきましては、機器の老朽化の状況を勘案しながら計画的に代替を進めてまいります。

なお、自動改札機はクレジットカード等のタッチ決済機能が搭載可能な機種、自動券売機は新 500 円硬貨に対応した機種への代替を計画しております。

- ・ その他

車内および駅への防犯カメラの設置、ホーム上屋の延伸、トイレの洋式化など、お客さまに安心かつ快適にご利用いただくための設備の整備を進めてまいります。

<人財の確保>

①休憩所、浴室、トイレなどのリニューアル

②乗務所・工場等の施設改修 など

【主な内容】

鉄道事業の運営に必要な人財を確保するとともに、従業員が働きやすい・働きがいを感じることをできる環境を整備するため、職場環境の整備を推進します。老朽化した駅・乗務所等の従業員用施設の更新(休憩所、浴室、トイレなど)や、乗務所・工場等の施設改修(空調更新など)を実施し、労務環境の改善を図ります。

(添付資料)

①普通旅客運賃(大人) ※現行には鉄道駅バリアフリー料金を含む。

(単位:キロ、円)

キ ロ 程	現 行	申請上限運賃
1～3	170	180
4～6	220	240
7～9	270	300
10～13	320	360
14～17	370	420
18～21	420	480
22～26	470	540
27～31	530	600
32～36	580	660
37～41	640	720
42～46	690	780
47～51	740	840
52～56	810	900
57～61	870	960
62～66	930	1,020
67～71	1,000	1,080
72～75	1,050	1,140

②通勤定期旅客運賃(大人1か月) ※現行には鉄道駅バリアフリー料金を含む。

(単位:キロ、円)

キ ロ 程	現 行	申請 上限運賃	キ ロ 程	現 行	申請 上限運賃
1	6,000	6,950	26	18,980	21,870
2	6,410	7,440	27	19,400	22,360
3	6,830	7,930	28	19,820	22,850
4	7,460	8,650	29	20,230	23,340
5	8,080	9,370	30	20,650	23,830
6	8,710	10,090	31	21,080	24,320
7	9,240	10,690	32	21,490	24,810
8	9,760	11,290	33	21,810	25,170
9	10,280	11,890	34	22,120	25,530
10	10,810	12,490	35	22,430	25,890
11	11,330	13,090	36	22,750	26,250
12	11,860	13,690	37	23,060	26,610
13	12,380	14,290	38	23,380	26,970
14	12,910	14,890	39	23,690	27,330
15	13,430	15,490	40	24,010	27,690
16	13,950	16,090	41	24,330	28,050
17	14,480	16,690	42	24,630	28,410
18	15,000	17,290	43	24,950	28,770
19	15,530	17,890	44	25,260	29,130
20	16,050	18,490	45	25,580	29,490
21	16,570	19,090	46	25,890	29,850
22	17,090	19,690	47	26,210	30,210
23	17,620	20,290	48	26,520	30,570
24	18,140	20,890	49	26,830	30,930
25	18,560	21,380	50	27,050	31,180

キ口程	現行	申請 上限運賃
51	27,250	31,430
52	27,460	31,680
53	27,680	31,930
54	27,890	32,180
55	28,090	32,430
56	28,300	32,680
57	28,510	32,930
58	28,720	33,180
59	28,930	33,390
60	29,150	33,600
61	29,350	33,810
62	29,560	34,020
63	29,760	34,230
64	29,980	34,440
65	30,190	34,650
66	30,290	34,860
67	30,400	35,070
68	30,500	35,280
69	30,620	35,490
70	30,710	35,590
71	30,820	35,690
72	30,920	35,790
73	31,030	35,890
74	31,130	35,990
75	31,240	36,090

③通学定期旅客運賃(大人1か月)

(単位:キロ、円)

キロ程	現行	申請 上限運賃	キロ程	現行	申請 上限運賃
1	2,070	2,250	26	5,420	5,910
2	2,320	2,530	27	5,450	5,950
3	2,580	2,810	28	5,480	5,990
4	2,830	3,090	29	5,510	6,020
5	3,100	3,370	30	5,540	6,050
6	3,310	3,600	31	5,570	6,080
7	3,510	3,830	32	5,590	6,110
8	3,730	4,060	33	5,610	6,130
9	3,930	4,290	34	5,630	6,150
10	4,150	4,520	35	5,650	6,170
11	4,360	4,750	36	5,670	6,190
12	4,460	4,860	37	5,690	6,210
13	4,560	4,970	38	5,710	6,230
14	4,670	5,080	39	5,730	6,250
15	4,780	5,190	40	5,770	6,270
16	4,880	5,300	41	5,790	6,290
17	4,980	5,410	42	5,810	6,310
18	5,040	5,520	43	5,830	6,330
19	5,090	5,570	44	5,850	6,350
20	5,140	5,620	45	5,870	6,370
21	5,190	5,670	46	5,890	6,390
22	5,250	5,720	47	5,910	6,410
23	5,300	5,770	48	5,930	6,430
24	5,350	5,820	49	5,950	6,450
25	5,380	5,870	50	5,970	6,470

キ　口　程	現　　　　行	申請 上限運賃
51	5,990	6,490
52	6,010	6,510
53	6,020	6,530
54	6,030	6,550
55	6,040	6,570
56	6,050	6,590
57	6,060	6,610
58	6,070	6,630
59	6,080	6,650
60	6,090	6,660
61	6,100	6,670
62	6,110	6,680
63	6,120	6,690
64	6,140	6,700
65	6,150	6,710
66	6,160	6,720
67	6,170	6,730
68	6,180	6,740
69	6,190	6,750
70	6,200	6,760
71	6,210	6,770
72	6,220	6,780
73	6,230	6,790
74	6,240	6,800
75	6,250	6,810

まちに、夢を描こう。



運賃改定の申請について (補足説明資料)

西日本鉄道株式会社

2025年9月17日



運賃改定の概要

まちに、夢を描こう。



- 申請日 2025年9月17日
- 改定時期 2026年4月（予定）
- 対象路線 天神大牟田線（太宰府線・甘木線含む）、貝塚線
- 初乗り運賃 180円（現行170円 ※鉄道駅バリアフリー料金を含む）
- 改定率および定期割引率

改定率				
普通運賃	通勤定期	通学定期	定期計	合計
11.1%	15.6%	9.0%	14.6%	12.4%

定期割引率	
通勤定期	通学定期
37.2%	82.2%

※現行：通勤39.3%、通学81.2%

（普通運賃）

- 各区間の運賃段差は遠距離逓減制※を用いた設定とし、改定後の運賃段差は全区間60円とする。
※遠距離逓減制…距離が長くなるほど賃率（1キロ当たりの運賃）が低くなる仕組み（※定期券も同様）

（定期運賃）

- 乗車キロ毎の改定率を可能な限り平均改定率に近づける。
- 家計への負担に配慮し、通学定期は普通運賃、通勤定期より低い改定率とする。

2023年3月より収受している「鉄道駅バリアフリー料金」は、
運賃改定にあわせて廃止。

主要区間の運賃

まちに、夢を描こう。



●福岡(天神)駅から主要駅までの運賃

	普通運賃			通勤定期（1か月）			通学定期（1か月）		
	現行	申請	改定額	現行	申請	改定額	現行	申請	改定額
大 橋	220円	240円	+20円	8,080円	9,370円	+1,290円	3,100円	3,370円	+270円
春日原	320円	360円	+40円	10,810円	12,490円	+1,680円	4,150円	4,520円	+370円
二日市	370円	420円	+50円	13,950円	16,090円	+2,140円	4,880円	5,300円	+420円
小 郡	530円	600円	+70円	20,230円	23,340円	+3,110円	5,510円	6,020円	+510円
久留米	640円	720円	+80円	23,690円	27,330円	+3,640円	5,730円	6,250円	+520円
柳 川	870円	960円	+90円	28,930円	33,390円	+4,460円	6,080円	6,650円	+570円
大牟田	1,050円	1,140円	+90円	31,240円	36,090円	+4,850円	6,250円	6,810円	+560円
太宰府	420円	480円	+60円	15,000円	17,290円	+2,290円	5,040円	5,520円	+480円

※現行運賃は鉄道駅バリアフリー料金を含む

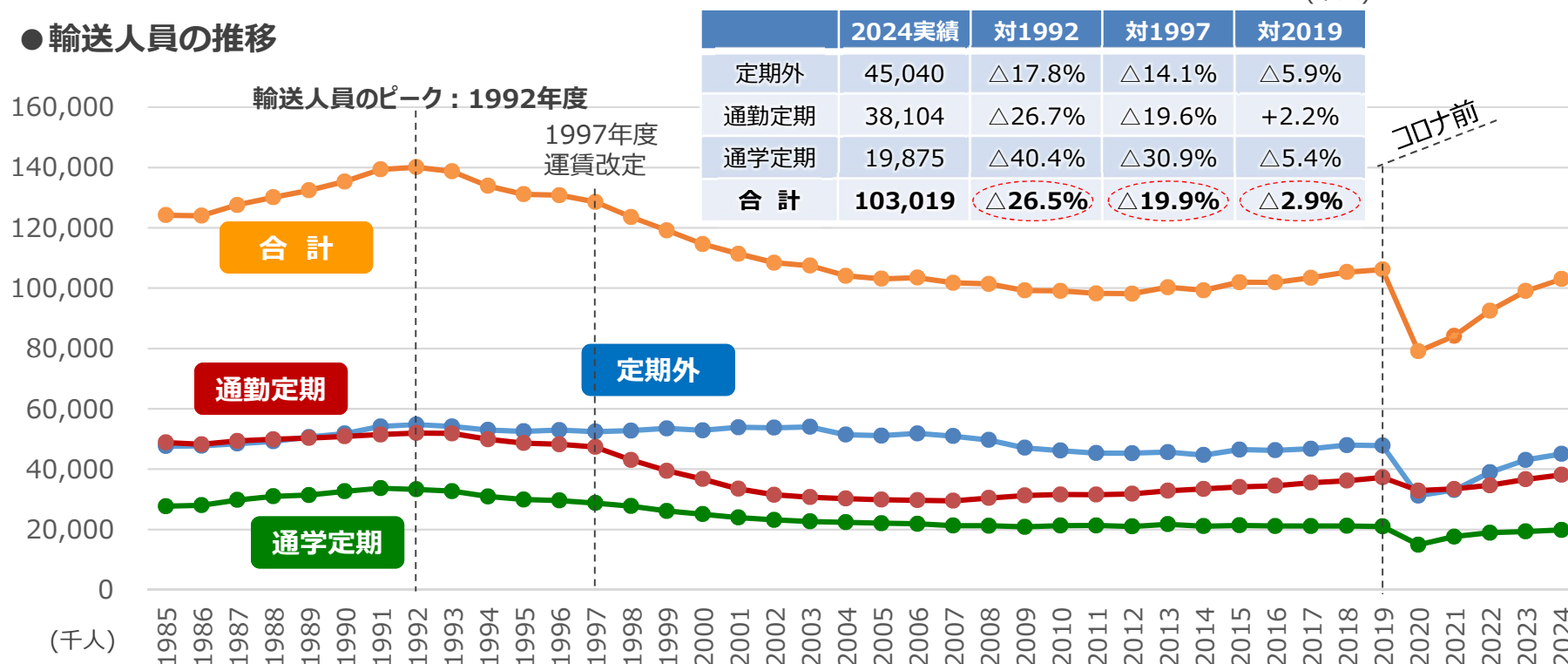
事業環境の変化

まちに、夢を描こう。



(千人)

● 輸送人員の推移



- 沿線の少子高齢化やマイカー移行等により、1992年度をピークに輸送人員は減少傾向にあり、2024年度の輸送人員はピーク時の約7割、前回運賃改定を実施した1997年度の約8割まで減少。
- こうした中、安全確保に必要な設備投資や車両代替、バリアフリー整備などサービス向上関連投資、職場環境改善などの人財確保関連投資は継続して実施する必要がある。
- 今後も、電気料金の値上げや物価高騰、カーボンニュートラルの実現にむけた対応など、さらなるコスト増が見込まれる。

これまでの取り組み

これまでの取り組み（安全・安定輸送の確保）

まちに、夢を描こう。

Nishitetsu
Group

①連続立体交差事業(雑餉隈～下大利間)



- 天神大牟田線の雑餉隈～下大利間において、2つの事業主体による連続立体交差事業を実施
- 2022年8月の高架切替で約5.2kmが高架区間となり19カ所の踏切が除去

③自然災害対策(耐震補強・法面改良)



【耐震補強】

- 西鉄福岡(天神)～井尻間の高架橋耐震補強を実施中
- 2023年度に西鉄久留米駅部の耐震補強が完了

【法面強化※】 ※法面とは切土や盛土により作られた人工的な斜面のこと

- 天神大牟田線のリスク評価を行い、評価結果に基づき計画的に法面強化を実施
- 現在、優先度の高い、味坂～宮の陣間を実施中

②ホームの安全性向上



【ホームドア】

- 移動等円滑化基本方針に基づく対象駅である西鉄福岡(天神)駅のホームドア整備を2025年度までに完了

【AIカメラを用いた異常検知の実証】

- 2025年2月より、天神大牟田線の計8駅で(株)アジラが提供する「AI Security asilla」を活用した、ホームの異常検知の実証実験を実施中

asilla

『asilla』で検知可能な行動一覧



④施設・車両の更新



【継電連動装置更新】

- 老朽化した継電連動装置(信号機を制御する装置)を計画的に更新

【7000形車体更新】

- 老朽化した車体および主要装置を計画的に更新
- 2024年度は7000形6両の更新工事を実施

これまでの取り組み（サービスの改善）

まちに、夢を描こう。



①新造車両(9000形)の導入



9000形車両



- 9000形車両を2016年度より新造し、老朽化した5000形車両と順次代替(現在43両保有)
- 車いすスペースを設置するなどバリアフリー対応を推進

②バリアフリー化の推進



- 移動等円滑化基本方針に基づく対象駅の段差解消を進めるとともに、バリアフリースイートやLCD表示器の設置など、バリアフリー化を推進
- 2024年度は、3駅のバリアフリースイートの整備(基準適合化)を進めたほか、3駅にLCD案内表示器を設置

③駅を拠点としたまちづくり



桜並木駅



西鉄久留米駅ビル

【桜並木駅の開業】

- 2024年3月に高架区間の雑餉隈～春日原間に新駅『桜並木駅』を開業

【久留米駅ビルのリニューアル】

- 2024年9月に西鉄久留米駅ビルがリニューアル
- 駅コンコースの商業テナント、定期券発売所等が一新し、利便性が向上

④決済手段の多様化(タッチ決済の導入)



- 2022年7月より5駅で実証実験を開始
- 2024年11月にタッチ決済の利用駅を全駅に拡大、2025年4月より本格実施
- Visa、JCBなど計7ブランドが利用可能

これまでの取り組み（経営合理化）

まちに、夢を描こう。

Nishitetsu
Group

●ワンマン化の実施



時 期	導入区間
1989年～	甘木線 (甘木～花畑間)
2001年～	花畑～大牟田間

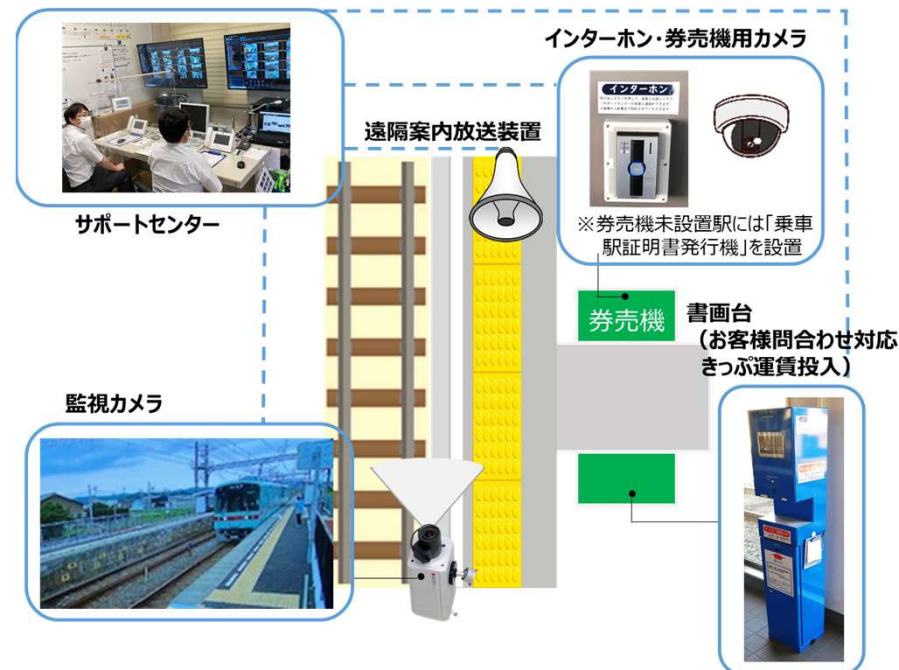
- ・実態に応じた適正な輸送力の提供と効率化を図るため、2001年のダイヤ改正より、花畑～大牟田間の普通列車のワンマン化を実施

●宮地岳線(現・貝塚線)の一部区間廃止



- ・2007年4月、ご利用のお客さまが減少していた宮地岳線（現・貝塚線）の西鉄新宮～津屋崎間を廃止

●駅運営の効率化



- ・2020年10月より、一部駅において駅集中管理方式による駅運営を開始し、2025年4月現在で全73駅中42駅（約6割）が集中管理駅となっている
- ・また、2004年10月に駅務部門を100%子会社の西鉄ステーションサービスに全面委託するなど外注化も推進
- ・電気・線路・車両部門においても同様に外注化を推進

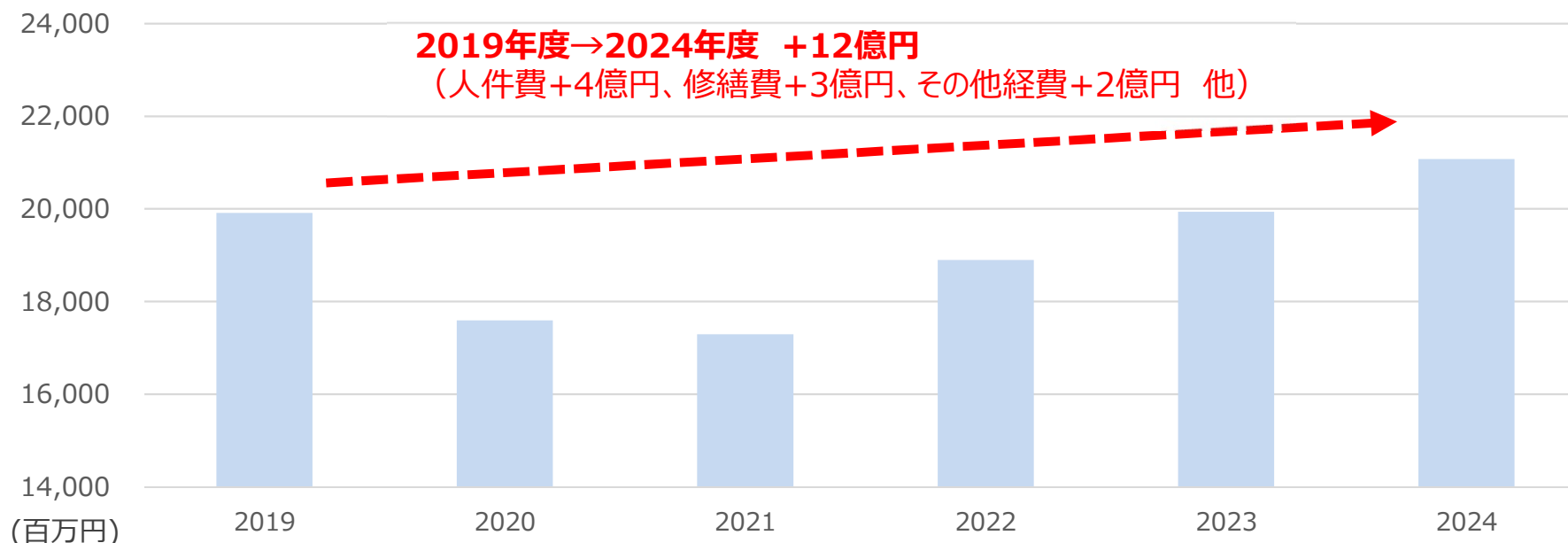
**経営合理化により、2024年度の鉄道事業の営業費は
1998年度（運賃収入ピーク）比で約21億円（▲9%）削減**

営業費(人件費・経費)の推移

まちに、夢を描こう。



●営業費(人件費・経費)の推移



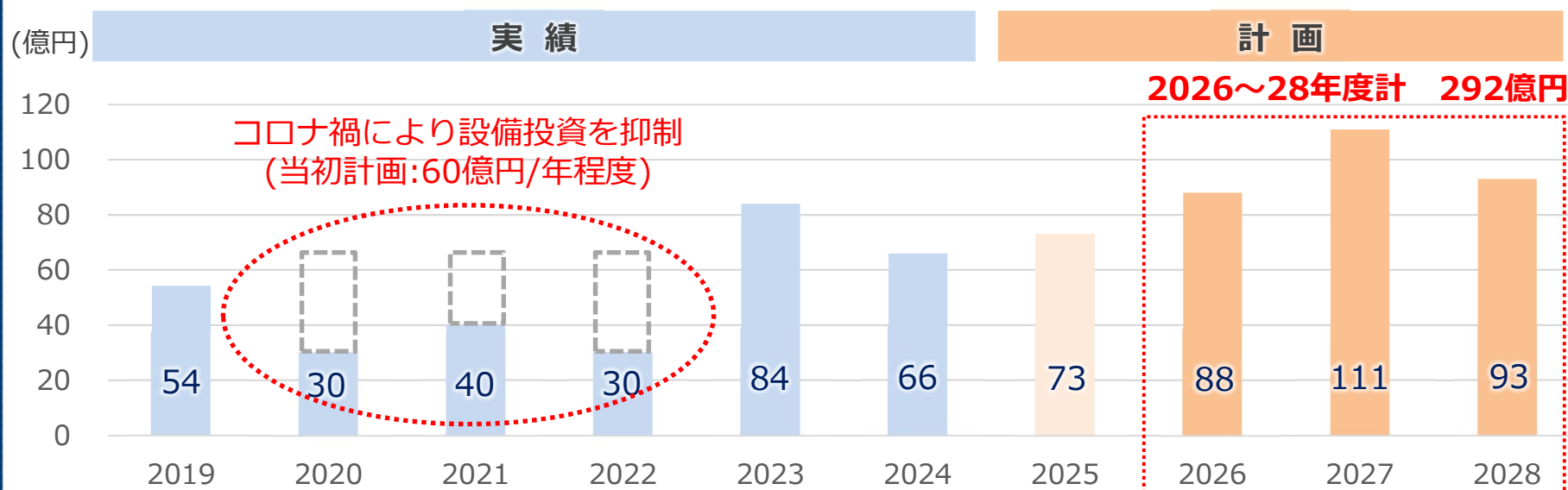
費目		上昇率	備考
資材等	車両(9000形2両)	+28%	2024納入車両 対 2018納入車両
	レール	+16%	2024 対 2019
	ケーブル(信号等)	+57%	2024 対 2019
人件費		+8%	2024 対 2019

人件費・資材高騰等により、営業費は2019年度比で+12億円増加

今後の取り組み

設備投資の増加

まちに、夢を描こう。



●今後の設備投資計画の視点

『安全・安定輸送の確保』のための設備投資を最優先に、『お客さまサービスの向上』のための設備投資、『人財の確保』のための設備投資、の3つの視点で積極的に設備投資を実施していく。

安全・安定輸送の確保	施設・設備の更新、施設の耐震補強、保安度向上対策 など	2026~28年度計 211億円(70億円/年)
お客さまサービスの向上	車両代替、駅施設の改修・改良、バリアフリー整備の推進 など	2026~28年度計 78億円(26億円/年)
人財の確保	休憩所・浴室などのリニューアル、乗務所・工場等の施設改修 など	2026~28年度計 3億円(1億円/年)

今後予定している設備投資（安全・安定輸送の確保）

まちに、夢を描こう。

Nishitetsu
Group

●ATSシステム（自動列車停止装置）の更新



- ・ 供用開始から50年以上が経過し、調達困難な部品が多く、機器の生産中止が発生しているATSを更新

※ATSシステム（自動列車停止装置）

：列車が赤信号（停止信号）の手前で確実に停止できるようにブレーキ制御を行う装置

●変電所の建替



- ・ 竣工から100年以上経過する春日原変電所をはじめ、老朽化が進む変電所を計画的に更新

●自然災害対策

【耐震補強】



- ・ 西鉄福岡（天神）～井尻間の高架橋耐震補強を引き続き進める
- ・ 本区間が完了後、その他の区間（井尻以南）についても順次工事を進める予定

【法面強化】



- ・ リスク評価の結果に基づき、継続して法面強化を進める

今後予定している設備投資（お客さまサービスの向上）

まちに、夢を描こう。



●【天神大牟田線】車両代替(9000形車両の導入)



9000形車両



- 9000形車両を、**2026～2028年度の3年間で20両導入**し、老朽化した5000形車両を順次置き換え

●駅施設の改修・改良



井尻駅



高宮駅

- 新築時から大規模改修を実施していない**高宮駅・井尻駅**の改修・改良を進める

●【貝塚線】車両代替および輸送力増強



600形



7050形

- 平均車齢が60年に達する600形を**7050形へ代替**
- 在籍車両数を現行の16両から**18両へ増備**

（貝塚線混雑率の推移）

（単位：千人/年）

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
輸送人員	8,199	6,549	7,021	7,665	8,067	8,553
混雑率	158%	129%	140%	154%	159%	164%

福岡市東区の人口増加等により、
貝塚線の輸送人員は年々増加しており、混雑率も上昇傾向

**2026年春のダイヤ改正で、朝ラッシュ時の
輸送力を増強し、混雑率緩和を図る**

今後予定している設備投資（お客さまサービスの向上）

まちに、夢を描こう。

Nishitetsu
Group

● バリアフリー整備の推進



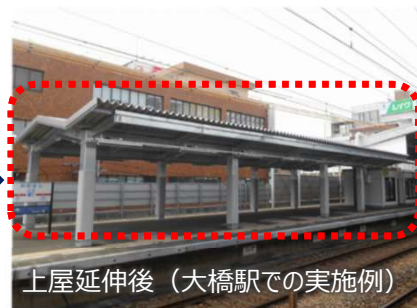
- ・移動等円滑化基本方針の整備目標に基づき、対象駅のバリアフリー化を進める
- ・平尾駅、高宮駅などへの案内設備（LCD案内表示器）の整備や、エレベーター・エスカレーターを更新などを計画

● 駅務機器の代替



- ・自動改札機、自動券売機などを老朽化に合わせて計画的に代替予定
- ・自動改札機はタッチ決済機能が搭載可能な機種、自動券売機は新500円硬貨対応機種への代替を計画

● その他



- ・車内および駅への防犯カメラ設置を推進
- ・ホーム上屋延伸やトイレの洋式化など、各種施設・設備の改善を実施

今後予定している設備投資（職場環境の改善）

まちに、夢を描こう。



(改修前)



(改修後)



(改修前)



(改修後)

【2024年度実施】筑紫乗務所浴室・トイレ改修



(改修前)



(改修後)

【2024年度実施】二日市駅女性宿泊所改修(洋室化)

- 鉄道事業の運営に必要な人財の確保、従業員の働きがい向上のため、職場環境の整備を推進
- 老朽化した駅や乗務所等の従業員用施設（休憩所、浴室、トイレなど）の更新を実施
- 車両整備施設の建屋や空調の改修、更新を実施

今後の主な取り組み（経営合理化）

まちに、夢を描こう。

Nishitetsu
Group

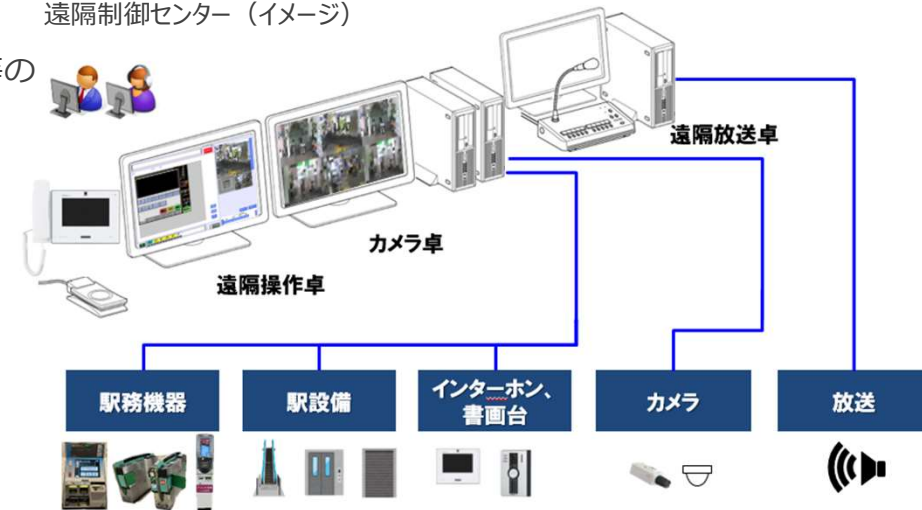
● 駅務部門

- ・ 駅務機器、エレベーター・エスカレーター、シャッター等の対応を含めた**駅遠隔監視制御システム**の検討
- ・ **自動案内・清掃ロボット**等による案内
- ・ 決済手段の多様化（**QR乗車券**の検討）



駅案内ロボット「temi」

遠隔制御センター（イメージ）



● 運転部門



9000形車側カメラ



- ・ 普通列車の**ワンマン拡大**の検討
- ・ 需要に応じた**効率的なダイヤ策定**

● 車両・施設部門



軌道変位モニタリング装置



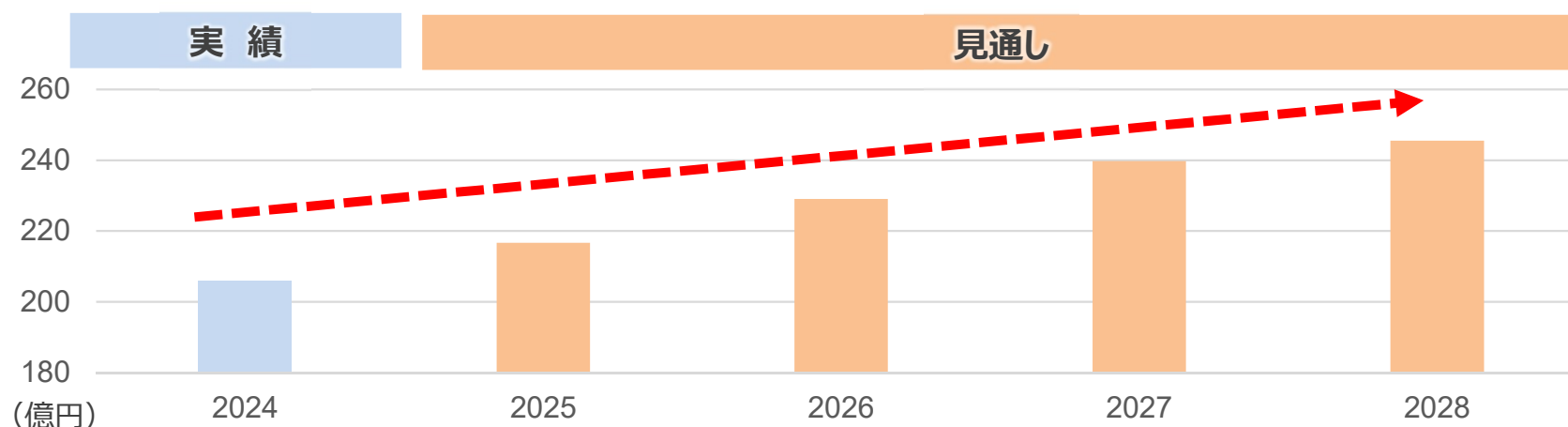
- ・ 作業内容の見直しによる**必要要員の削減**
- ・ **新技術の活用**による効率化（軌道変位モニタリング装置の導入、信号設備の遠隔監視システムの実証導入など）

営業費(人件費・経費)の今後の見通し

まちに、夢を描こう。

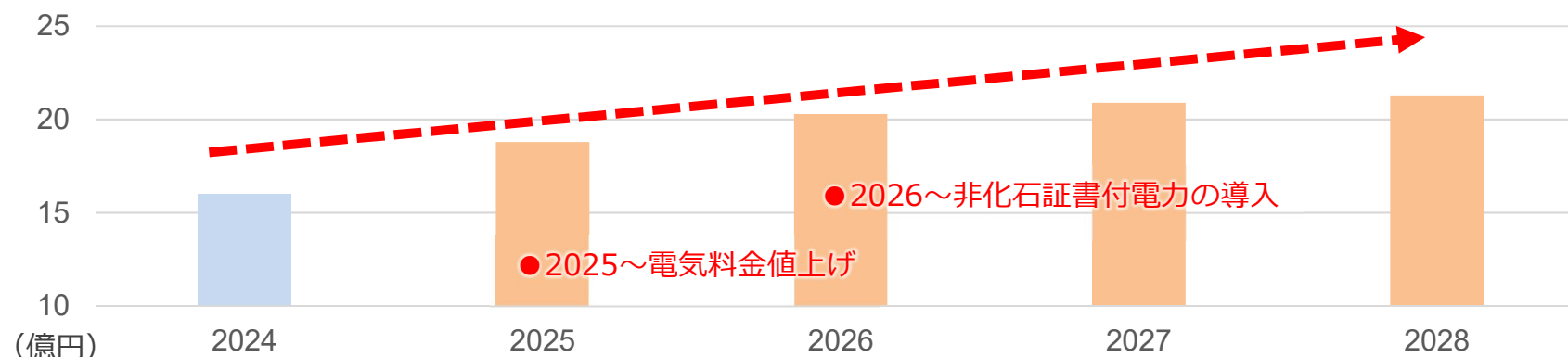


●営業費(人件費・経費)



※コストは申請上の計算方法にて算出

●うち、動力費(駅などの電灯料を含む)



➤ 物価高騰、電気料金の値上げ、人財確保のための待遇改善、非化石証書付電力の導入など、**今後も営業費(人件費・経費)は増加する見込み。**

持続的な鉄道事業運営に向けて

まちに、夢を描こう。



■ 設備投資の増加

①安全・安定輸送の確保	②お客さまサービスの向上	③人財の確保
➤ 施設・設備の更新、 施設の耐震補強、 保安度向上対策 など	➤ 車両代替、 駅施設の改修・改良、 バリアフリー整備の推進 など	➤ 休憩所・浴室などの リニューアル、 乗務所・工場等の施設改修 など

■ 営業費(人件費・経費)の増加

- 電気料金の値上げ、物価高騰、人財確保のための待遇改善、
非化石証書付電力の導入などのカーボンニュートラルの実現に向けた対応 など



今後も鉄道事業を安定的かつ継続的に運営し、公共交通機関としての使命を果たしていくために、当社のより一層の経営努力を前提としたうえで、今後増加する費用の一部についてお客さまにご負担をお願いしたく、運賃改定に向けた申請をいたしました。何卒ご理解賜りますようお願いいたします。